東京都の4月景気判断据え置き　東京財務事務所

#東京

2023/4/25 19:45

東京財務事務所は25日、東京都の4月の経済情勢報告を発表した。総括判断は「緩やかに持ち直している」とした1月の前回判断を据え置いた。新型コロナウイルス禍からの社会経済活動の再開やインバウンド（訪日外国人）の増加で消費回復が進む一方で、産業活動には海外経済減速の影響が出ている。

個人消費と産業活動ともに「緩やかに持ち直している」と据え置いたが、産業活動のうち製造業は前回判断の「持ち直している」から「持ち直しのテンポが緩やかになっている」に下方修正した。ヒアリングでは物価やエネルギーコストの上昇などをマイナス要因にあげる企業があった。

先行きについては「各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される」とした一方で「海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている」など警戒感を示した。

東京財務事務所は25日、東京都の4月の経済情勢報告を発表した。総括判断は「緩やかに持ち直している」とした1月の前回判断を据え置いた。新型コロナウイルス禍からの社会経済活動の再開やインバウンド（訪日外国人）の増加で消費回復が進む一方で、産業活動には海外経済減速の影響が出ている。

個人消費と産業活動ともに「緩やかに持ち直している」と据え置いたが、産業活動のうち製造業は前回判断の「持ち直している」から「持ち直しのテンポが緩やかになっている」に下方修正した。ヒアリングでは物価やエネルギーコストの上昇などをマイナス要因にあげる企業があった。

先行きについては「各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される」とした一方で「海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている」など警戒感を示した。